



◀教育講話



▶落語口演会

厚真高の教育活動について
学校案内パンフレットから

8月上旬、厚真高の教育活動の様子を紹介することを目的として毎年作成している「学校案内パンフレット」が出来上がりました。

今回は、その中から、「卒業生の声」を一部掲載したいと思えます。

「第一志望だった企業に就職できた喜びを感じながら、今は勉強の毎日です。高校時代は、野球部でキャプテンをしていました。野球を通して、礼儀やチームワーク、リーダーシップを身に付けることができ、就職試験の面接でもアピールポイントにできました。厚真高校は小さいけれど、自分の目標を持っていればかなえられる学校だと思えます。「こうはなりたくない」と思うのではなく、「こうなるんだ」という意志を持つことで、自分自身の高校生生活の取り組み方が変わり、先生方からのサポートも得られるはず」

以上が昨年度の「卒業生の声」です。厚高で学んだ3年間の経験が彼を成長させたと思えます。

来年度、厚高を志望する中学3年生の他、学校案内パンフレットをご希望される方がいらっしやいましたら、厚真高校教頭(佐藤)までご連絡ください。
(027-2069)

厚真町
地域おこし
協力隊



地域おこし協力隊 観光振興支援員
はら ゆうじ
原 祐二さん (46歳)

着任 平成27年6月(2年目)

出身地 大阪府寝屋川市

活動内容 町観光協会のスタッフとして町内外の観光イベントなどを企画・運営しています。

file.02

>最近はどんな活動をしていますか？

町観光協会が行うイベントや町グリーンツーリズム運営協議会の運営などに携わっています。8月1日から4日間、わたみ自然学校にスタッフとして参加しました。

関東方面から来た都会の子どもたちが厚真町の豊かな自然に触れ、キラキラと輝く瞳を目の当たりにし、厚真町のグリーンツーリズムの発展につながる大変有意義なイベントであったと感じました。今年は、関西から2校の修学旅行生が農家民泊のために厚真町を訪れることになっていますので、参考にできればと考えています。

また、8月26日から3日間、厚真町の特産品やあつまるくんグッズの販売など、厚真町特産品のPRのために北海道テレビ放送主催の「HTTBイ

チオシ!まつり」に参加しました。

>今後の予定は？

厚真町観光協会では11月からグルメフェアを開催します。厚真町のおいしいお米と北海道が誇る幻の高級魚「マツカワ」を使用した新グルメです。

町内では、こぶしの湯、厚真園、かくれん坊、ゆるりなどで提供される予定です。

ぜひ旬の食材を使った料理をお楽しみください。

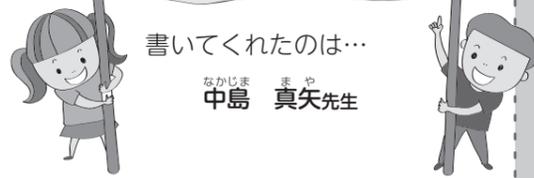


マツカワを使った釜飯定食(ゆるり)

クラスじまん!

宮の森こども園
こなら組

書いてくれたのは…
なかじま 真矢先生
中島 真矢先生



こなら組(3歳児)は、女の子4人、男の子9人の合計13人のクラスです。

5月から新しい園舎になり、広くなったお部屋で遊んだり、ブロック、積み木で遊んだり、お友だちと協力して大きなものを作って遊べるようになってきました。できあがると嬉しそうに「見て!見て!」とお友だちや担任に見せてくれます。

また、新しい園庭では追いかけっこをしたり遊具で遊ぶだけでなく、体を動かして遊ぶことが大好きなこなら組。今日は外行く?とよく聞いてきます。晴れている日はプール遊びや泥遊び、色水遊びなど夏ならではの遊びを楽しんでいます。泥遊びでは、大きいクラスの子の真似をして池や川を作ったり、料理や飲み物を作ったり夢中で遊んでいますよ!

今年には野菜作りにも挑戦しました。プランターにキュウリと芽キャベツを植え、毎日大きくなられ、大きくなると言いながら水やりをしています。園庭に遊びに行くと、「大きくなっただけかな?」と野菜を見に行く子どもたちです。収穫がとても楽しみです。

かみ あつ ましょうがっこう ねん
上厚真小学校 2年
みかみ かな
三上 葉奈ちゃん (7歳)
かみねん ど べんどう つく にくだん ご まる
紙粘土でお弁当を作りました。肉団子を丸くするところが上手くできました。

かみ あつ ましょうがっこう ねん
上厚真小学校 2年
きたじま みさと
北島 未聖ちゃん (8歳)
かみざら とけい つく
紙皿で時計を作りました。フチをレースのようにギザギザに切って可愛くしました。

ぼくのわたしの
作品紹介

短歌

薯掘りを手伝ひくるる孫の背に止まる蜻蛉と共に寛ぐ (新町 金本 年子)
倒れても又起き上がるコスモスの力強さを我も欲しけり (上野 宮崎 静恵)

ベランダで夫と二人で飲むコーヒー麦ワラ帽子にトンボがとまる (本郷 湯浅 悦子)
あつま文芸友の会発行「文芸あつま 第二十一号」から抜粋